

目的：糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につける

- 目標：
1. 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する
 2. 糖尿病患者への足病変の病態生理、治療を理解する
 3. 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
 4. 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ
 5. 糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する
 6. 予防的フットケア実施するためのシステム構築について考えることができる
 7. 参加者同士で学びを共有できる

6月2日（日） 8：45～18：05 ZOOMによる研修

日程	項目	講師	テーマ	ねらい
1 日 目	8:45-9:00	オリエンテーション	担当：杉本 友紀 慶應義塾大学病院	
	9:00-10:00 (60分)	講義1 由浪有希子 (東北大学病院)	糖尿病患者の療養を支える フットケアの意義	糖尿病患者へのフットケアは、糖尿病や足の状態、生活・セルフケア状況を統合して捉え、患者に適したフットケア方法を継続的に実践していく、セルフケア支援のプロセスであることを理解する。
			休憩（10分）	
	10:10-12:20 130分（10分休憩含）	講義2 家城恭彦 (富山市立富山市民病院)	糖尿病患者の足病変 ～病態生理から治療まで	糖尿病患者の足病変、病態生理、治療、検査について理解する。
			昼休憩（50分）	
	13:10-14:40 (90分)	講義3 濱野初恵 (富山県立大学)	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況、リスクなどアセスメントに必要な知識を理解する。
			休憩（10分）	
	14:50-16:45 115分（5分休憩含）	講義4 住吉由巳子 (順天堂大学医学部附属浦安病院)	フットケアの実際 ～予防のためのセルフケア支援	糖尿病患者の置かれている状況やリスクの評価を基に、その患者に適したフットケアの実践とセルフケア支援につなげる為に必要な知識を理解する。
			休憩（10分）	
	16:55-17:55 (60分)	講義6 数間恵子 (JADEN監事)	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステム作りを考える。
17:55-18:05 (10分)	クロージング	担当：杉本 友紀 2日目、3日目の案内等	慶應義塾大学病院	

6月8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

各会場における集合研修

日程	項目	講師	テーマ	ねらい
		オリエンテーション 担当：各会場		
2 日 目	(10分)	演習2	各会場 ファシリテータ	事例分析と評価① フットケア計画の立案につなげられるよう、事例の内容が理解できる。
	(90分)	演習3	各会場 ファシリテータ	事例分析と評価② ～アセスメントと問題点の抽出～ 足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する～アセスメントから問題点を抽出できる。
	休憩			
	(30分)	講義5	各会場 ファシリテータ	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント② アセスメントの統合と足病変リスク評価に伴う課題抽出過程を理解する。
	休憩			
	(120分)	演習4	各会場 ファシリテータ	事例分析と評価③ ～ケア計画立案～ 足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する～看護問題から課題と具体的なフットケア方法を立案できる。
(10分)	クロージング	担当：各会場委員		3日目の演習の案内

6月9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)

各会場における集合研修

日程	項目	講師	テーマ	ねらい
		オリエンテーション 担当：各会場		
3 日 目	(100分)	演習1	各会場 ファシリテータ	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント技術② 糖尿病患者へのフットケアにおける足の状態のアセスメント及び、足病変のリスク評価の実践と評価ができる。
	休憩			
	(130分)	演習5	各会場 ファシリテータ	フットケアの実際 ～予防のためのセルフケア支援技術② 糖尿病患者のフットケアの予防のためのセルフケア支援技術の実践と評価ができる。
	(40分)	演習6	各会場 ファシリテータ	まとめ ～今後の活動に向けて～ 自施設において、フットケアを実践するための方法を考える。
(10分)	クロージング	担当：各会場委員 修了証について他		

* 集合時間、開始時間は各会場で現地の状況に合わせて決定する。